



地域の経営支援力強化に向けた よろず支援拠点のあり方

岡山県よろず支援拠点
チーフコーディネーター 鈴鹿 和彦

岡山県よろず支援拠点について

【受入機関】

- 機 関 名: 公益財団法人岡山県産業振興財団
- 住 所: 岡山市北区芳賀5301
- 電話番号: 086-286-9667
- サテライト: 2箇所(岡山市、津山市)



【体制】

《チーフコーディネーター》

- 氏名: 鈴鹿 和彦(すずか かずひこ)
- 略歴: 岡山県行政に27年間従事。よろず支援拠点開設に際し、チーフコーディネーター就任。
- 強み: 27年間の行政経験を生かして補助金や助成金など、国の中小企業・小規模事業者に対する支援施策を分かりやすく提供。また、人手不足が続く中、ITを活用した売上拡大や内部管理による生産性向上策、加えて、働き方改革関連法に対処するための就業規則の作成や人事評価制度の導入などを提供。中小企業診断士、社会保険労務士、行政書士、総合旅行業取扱管理者、ファイナンシャルプランナー、知的財産管理技能士。

鈴鹿 和彦 チーフコーディネーター

《コーディネーター》

- 人数: 42人
- 分野: 創業支援、経営知識、雇用・労務、事業計画策定、商品開発、現場改善・生産性向上、売上拡大、経営改善支援、IT活用、経営革新支援、資金繰り、事業承継、施策活用、地域資源活用、法律、知的財産、債権保全・債権回収、人材育成、税務、販路先設定、販路開拓、広報戦略、広告デザイン、商品デザイン、事業連携 他

1.導入

① 地域の産業構造や各都道府県の支援施策

全国と比較すると、本県は人口規模で20位、総面積で17位、人口密度で24位と各種指標的には平均的な県であるが、高齢化率が30.6%(全国28位:令和3年10月)と進んでいる。その中で、製造品出荷額等や従業員一人あたり製造品出荷額等は全国上位にあるものの、人口一人当たり県民所得が全国34位(令和元年度)と低いことは、飲食業やサービス業(医療福祉・介護サービスを含む)、観光業等の第三次産業の生産性向上に取り組む必要があると推測する。こうした中、県は、水島工業地域における製造業が地域経済をけん引している岡山県では、当拠点の実施機関である岡山県産業振興財団に「ものづくり支援部」があるように、従来から製造業に対して手厚い支援を行ってきた。

また、県の人口は、約185万人である中、岡山市に約70万人、倉敷市に47万人と、63%以上が都市部に集中している。その中、商工会議所エリアは県予算の関係で経営指導員の人員が比較的少ない体制のため、当拠点の役割が高まっている。特に県庁所在地等、都市部の商工会議所エリアは会員としての加入率が低く、公的支援を受けることが困難な事業者が多数存在している。

そのような状況の中、中山間地帯の市町村には、土業の資格を有する者が存在しない地域もある。したがって、積極的に当該地域に出向き、出張相談を行っていた。しかし、コロナ禍を経験して、WEBで相談できる体制を構築したため、出張相談の回数を減らしたところである。

②地域における支援機関

・岡山県商工会連合会及び20商工会(経営指導員112人うち、県連職員16人)

商工会エリアは、県の予算規模も豊富で中小企業診断士の資格を有する経営指導員など、十分な支援体制が構築されているため、当拠点は、ITの専門家やデザイナーなど、尖った専門家と連携した支援を行っている。ただし、3商工会へは、中小企業診断士が月に1度の出張相談を実施している。

・12商工会議所(経営指導員69人)

当拠点は、岡山県商工会議所連合会と書面による連携協定を結んでいる中で、商工会議所エリアは、商工会と異なり、県の予算規模が十分でないことに加えて、岡山商工会議所など、都市部の会議所エリアは、会員の組織率も低いため、当拠点に対する支援ニーズが高い。なお、県内の3商工会議所では、週に一度の出張相談を行っている。

・岡山県産業振興財団(岡山県よろず支援拠点実施機関)

当拠点の実施機関は、中小企業支援センターであるとともに、事業引継ぎセンター、中小企業活性化協議会、下請け駆け込み寺、知財総合窓口等、国や県の様々な支援制度のワンストップ窓口である。なお、事業引継ぎセンター及び中小企業活性化協議会とは、月1度の連携会議を実施している。

・岡山県中小企業団体中央会(職員17人)

協同組合を支援している団体であるため、当拠点は、協同組合岡山県卸センターや青年中央会等と連携して、当該組合にCOを派遣してセミナーを実施している。

・岡山県信用保証協会

同協会とは、書面による連携協定を結び、トレー二一(月1名2日間)制度を実施し、職員が同席相談を行い、支援能力向上を図るとともに、当拠点の強みを理解して頂いている。また、同協会の職員を対象に「賢い、よろずの活用方法」と銘打った勉強会を開催するとともに、中小企業活性化協議会と三機関連携で月に一度の経営改善戦略会議を開催している。

・中国銀行(第一地銀)

同行とは、書面による連携協定を結ぶとともに、各支店へCCOが出向いて、行員を対象に「賢い、よろずの活用方法」と銘打った勉強会を開催している。

・トマト銀行(第二地銀)

同行からトレー二一(月1名～2人、2日間)を受け入れ、行員が同席相談を行うことで支援能力向上を図るとともに、当拠点の強みを理解して頂いている。また、各支店へCCOが出向いて、行員を対象に「賢い、よろずの活用方法」と銘打った勉強会を開催している。

・7信金、1信組

CCOが出向いて、職員を対象に「賢い、よろずの活用方法」と銘打った勉強会を開催している。特に、玉島信用金庫及び水島信用金庫へは、月に一度の出張相談を実施していた。(現在は、月に2日、WEB相談日を設けている。)また、笠岡信用金庫へは、当拠点のCOや相談者を月に一度派遣して、連携セミナーを実施している。

・他県の地銀の支店

広島銀行には、不定期の出張相談会を実施している。また、香川銀行及び山陰合同銀行へは、「賢い、よろずの活用方法」と銘打った勉強会を開催したこともある。今後も、他行とも連携強化する必要がある。

・日本政策金融公庫(3支店)

同公庫からトレーニー(月1人～2人、2日間)を受け入れ、職員が同席相談を行うことで支援能力向上を図るとともに、当拠点の強みを理解して頂いている。また、各支店へCCOが出向いて、職員を対象に「賢い、よろずの活用方法」と銘打った勉強会を開催している。

・商工中金

CCOが出向いて、職員を対象に「賢い、よろずの活用方法」と銘打った勉強会を開催している。

・JETRO岡山及び中小企業基盤機構中国本部

当拠点には、海外展開の専門家が在籍していないため、相談対応を依頼している。

・その他

CCOが中小企業家同友会の会員であり、同会とは、女性経営者を対象にした女子大学を開催して、従来から密な連携を行っている。今年度より、各支部の例会等にセミナー講師としてCOを派遣している。また、労働者の賃上げ促進がミッションである岡山労働局と連携したセミナーを開催した。なお、当拠点は、県下10市町の特定創業等支援事業の窓口となっている。

③よろず支援拠点の立ち位置(他の支援機関との違い)

商工会・商工会議所や金融機関等には、中小企業診断士等の資格を有するものがいるが、大多数は、資格等を持っていない職員である。一方で、よろず支援拠点はCOは、弁護士等の土業をはじめ、国家資格はないもののデザイナー等、自らが民間で収益を上げているコンサルタントである。したがって、他の支援機関との違いは、当該コンサルタントが、無料で継続して支援できることである。また、創業や事業承継を経験して、多数の社員を雇っているCOが在籍していることである。さらに、商工会や商工会議所の支援対象が小規模事業者であるが、当拠点は、一定程度の中堅中小企業の支援も行っている。

なお、当拠点は、中小企業庁が平成24年6月に「ちいさな企業未来会議」の報告書で発表した「新たな“知識サポート” プラットフォーム」をイメージして体制を整備している。

よろず支援拠点の役割

平成24年度の経済センサスによると岡山県の雇用の31.8%が小規模事業企業で勤務している。コンサルタント等を有料で活用できない当該企業を支援することが役割である。なお、小規模事業者は、これまでコンサルタントを活用していないケースが多いため、当拠点のCOが継続的に伴走支援を行うことにより、生産性の向上と雇用の場の創出に寄与している。

また、廃業支援等、経営に苦慮している事業者は、土業を含むコンサルタントに費用を払うことが困難である。こう言った事業者に対しても、無料で経営改善を行うとともに、事業の終活まで、伴走して支援できることにある。

加えて、当拠点が中小企業・小規模事業者支援の中核に位置することにより、的確に他の支援機関(民間コンサルタントを含む)に橋渡しすることである。

2.よろず支援拠点における支援内容・拠点運営

②支援手法

相談者があつた場合、CCO又は、中小企業診断士等が、課題を設定した後に、専門性の高いCOが課題を解決するための支援を行つてゐる。そのため、課題が解決するたびに次の課題を設定して、事業者の成長に寄与している。

具体的には、法律相談など、課題がはつきりしている場合は、課題解決型となるが、SNSの相談等、売上拡大の相談の場合は、真の課題を確認する必要があるため、課題設定型になる。したがつて、多くの相談は、課題を設定した後に課題を解決するモデルであると考えている。

③相談から解決までのフロー

相談予約は、電話又は、ホームページで対応している。新規相談者に対しては、原則、CCOが詳細ヒアリングを行い、課題と設定と整理ができるまで、伴走支援を行つてゐる。課題解決提案後は、専門性の高いCOが実行支援を行う。そして、課題解決後は、新たな課題を設定して、次のCOが伴走支援を行うように心がけている。

具体的には、次のオペレーションである。

- ・CCO又は、相談者を担当する中小企業診断士による課題抽出とプランニング
- ・専門COとの連携と情報共有
- ・方向性の決定と課題解決
- ・成果確認と新たな課題抽出

④拠点の運営方法・体制、COの育成、サテライト、出張相談の概要

基本的に、実施機関は、CCOに運営を任せてくれている。公的支援機関は、公務員的存在である中、拠点のCOは民間の支援人材であるため、相談者数の確保、その支援を自由に活動させて頂いでいることで、総合的に実績がでていると考えている。

・体制

開設当初から掲げている「売上拡大」の支援を行うために、中小企業診断士の資格を持つCOを中心として、ITスキルや広報戦略、商品開発等に係る専門知識を有するCOを確保している。また、創業や事業承継を実際に経験した現役経営者や飲食店を経営しているCOが在籍していることが当拠点の強みである。加えて、ゼロゼロ融資の返済が開始される中で、資金繰りをしながら経営改善を行うスタッフを揃え、廃業支援等も含めて経営者に寄り添った支援が行える人材を確保した。また、原材料価格や人件費が高騰する中で、厳重な原価管理と生産管理が行える専門家を強化した。課題は、毎年度卒業するメンバーに代わる新たなCOを確保・育成することである。

・COの育成

自由民主党が政策立案した書類のとおり、当拠点は、若いコンサルタントを育成する「虎の穴」と考えている。したがって、日に6件の相談対応が可能な若いCOに相談対応させることにより、支援能力向上を図っている。また、四半期に一度、一日かけて研修を行い、連携する支援機関の強みや国の政策を学ばせている。加えて、グループディスカッションしながら、SWOT分析を行い、支援(課題発見)能力の強化に努めている。

・サテライト・出張相談

当拠点は、実施機関が岡山市街から離れているため、常設のサテライトを市中心部に備えている。コロナ前は、3か所の常設の相談場所を設け、月15回以上の出張相談を行っていたが、WEB相談の体制を構築したため、2か所の常設相談場所の廃止、出張相談を減少させたところである。なお、現在も週一度3か所、月一度3か所の出張相談を行うとともに、金融機関から依頼された際は、不定期の経営相談を実施している。

3. 地域の支援機関との連携した力を入れた取組

・書面による連携協定

岡山県商工会議所連合会、中国銀行(第一地銀)、岡山県信用保証協会。

・紹介の多い支援機関

設立時から、商工会や商工会議所など、公的支援を受けていない事業者を積極的に支援することで、当拠点と同会との役割分担を行いたいと考えた。その中で、金融機関と全く付き合いのない事業者はいないと推測して、金融機関との連携強化に注力してきた。したがって、金融機関からの新規相談が多数ある。また、当拠点は、WEBで相談できる体制を構築したため、WEB内で、支援機関の職員が同席するケースが増加している。

なお、トマト銀行(第二地銀)及び日本政策金融公庫、岡山県信用保証協会からトレーニーを受け入れ、同席した相談を行っている。

4. 独自の取り組み

開設当初から、相談者に対して、COの強みの情報発信を行い、集客することが大切であると考え、少人数を対象としたセミナーを週に一度実施している。また、勉強会と銘打って、一対一のプッシュ型の経営相談を実施している。加えて、事業承継支援と相談者同士の交流の場を提供するため、「よろずcafé」を開催している。

上記の取り組みの広報戦略として、6,000人強が参加しているFacebookグループを運営することで、COの強み(相談対応できる専門分野)や勉強会・ミニセミナー(月4回開催)等の開催情報、補助金等の支援施策、売上拡大や事業承継の成果が出た相談事例を発信している。また、昨年度より当拠点のInstagramアカウントを開設し、同様の情報を発信し、開設から1年で、フォロワーは2,000人を超えており、さらに、LINEやYouTubeチャンネルを開設して、あらゆる手段で情報発信して、幅広い年齢層へ事業者に来訪を促している。

外部環境の変化により、経営状況の悪化により、廃業したり、自己破産するような事業者が増加すると想定している。その中で、困った事業者を支援できるのは、公的支援人材と考えるため、当該支援体制の強化を考えている。

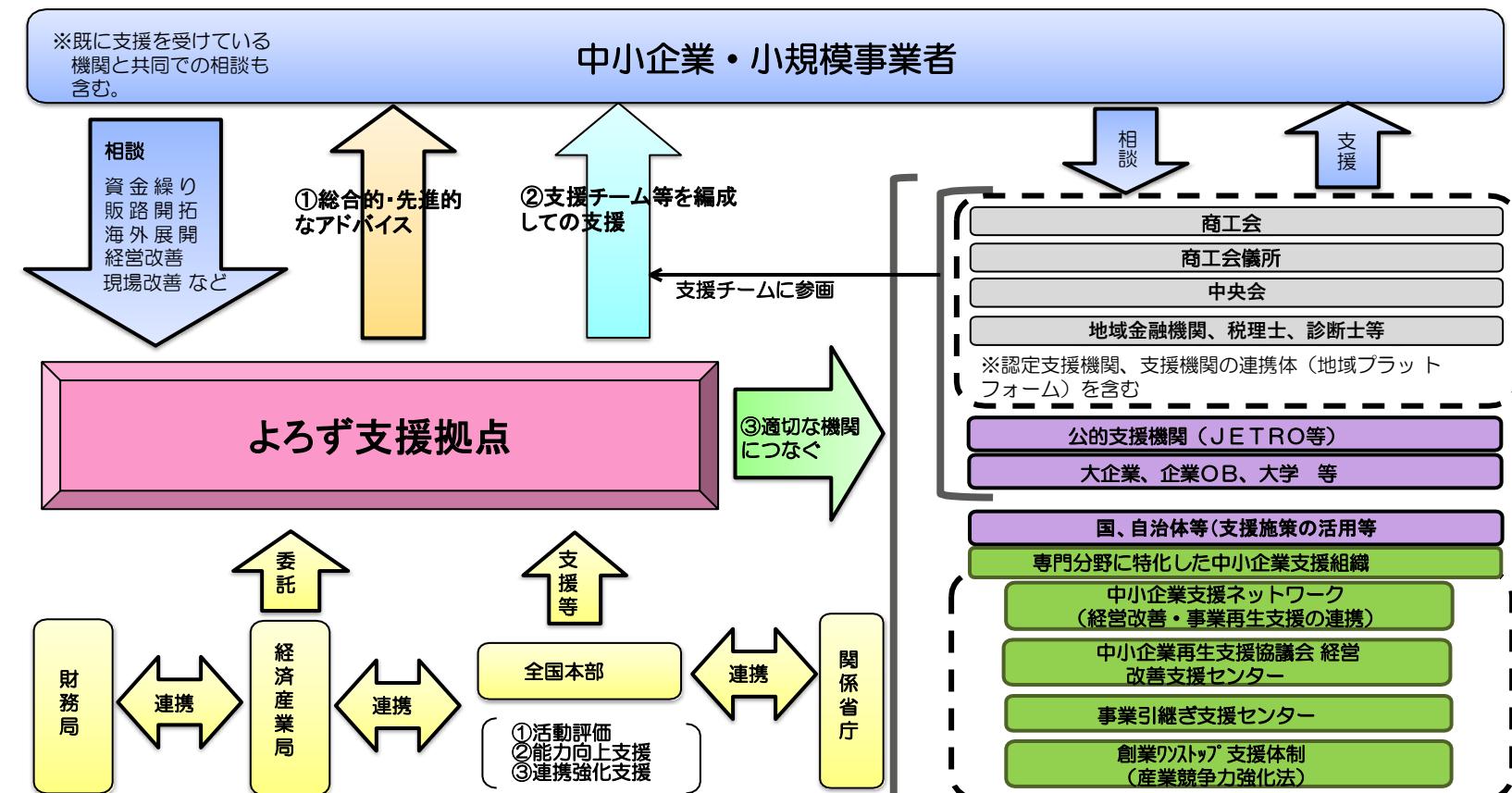
一方で、伴走支援事業は、支援効果が高いため、本年度においても、10社(うち新規4社)を対象に実施している。



岡山県よろず支援拠点の役割

1、よろず支援拠点の最大のミッション

中小企業・小規模事業者の売上拡大



経済産業省資料

国が求めていること

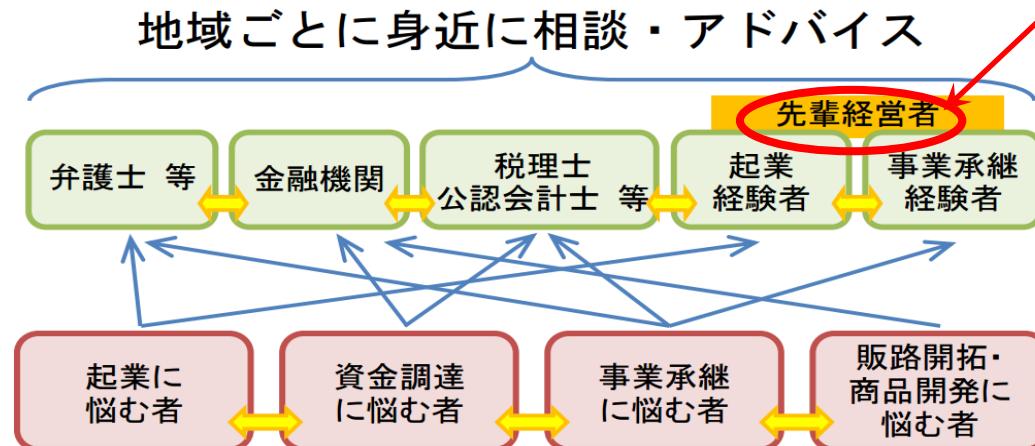
新たな「知識サポート」プラットフォームの構築

中小企業憲章の理念の下、中小企業が果敢に挑戦できるような経済社会の実現に向けて政府が取り組むとともに、中小・小規模企業は、単に政策による支援を求めるだけでなく、**自立・自活・努力**により、自ら企業の未来と活路を切り拓くために最大限取り組み、経済を牽引する力・社会の主役となることが重要である。

(平成24年6月中小企業庁「ちいさな企業未来会議 取りまとめより）

新たな“知識サポート”プラットフォームのイメージ

先輩経営者からの
助言が不可欠



ネットによる相談

- ・経営に関する悩みを持つ中小・小規模企業が同様の経験をした先輩経営者や経営支援経験者などに、WEB上で容易に相談できる仕組み。

2、令和6年度 政策的な重点分野への対応

- ◆ DX(IT活用)
- ◆ CN(省エネ対策等)
- ◆ 経営改善(収益力向上、利益確保含む)
- ◆ 省力化(作業負担の軽減)
- ◆ 事業承継
- ◆ 価格転嫁
- ◆ インボイス対応
- ◆ 人手不足
- ◆ 知的財産
- ◆ 中小企業・小規模事業者の賃上対策
(岡山県よろず支援拠点の独自目標)

3、岡山県よろず支援拠点の実績

○平成28年度（平成28年4月から平成29年3月の累計値）

来訪相談者数	5,653件
--------	--------

○平成29年度（平成29年4月から平成30年3月の累計値）

来訪相談者数	5,877件
--------	--------

○平成30年度（平成30年4月から平成31年3月の累計値）

来訪相談者数	9,464件
--------	--------

○平成31年度（平成31年4月から令和2年3月の累計値）

来訪相談者数	11,092件
--------	---------

○令和2年度（令和2年4月から令和3年3月の累計値）

来訪相談者数	13,483件
--------	---------

○令和3年度（令和3年4月から令和4年3月の累計値）

来訪相談者数	14,252件
--------	---------

○令和4年度（令和4年4月から令和5年3月の累計値）

来訪相談者数	13,941件
--------	---------

○令和5年度（令和5年4月から令和6年3月の累計値）

来訪相談者数	13,983件
--------	---------

4、相談対応拠点

岡山サテライトオフィス

岡山市北区磨屋町3-10 岡山ニューシティビル2階

平日 : 10時30分～19時30分 (12:00～13:00除く)

土日祝 : 9時00分～18時00分 (12:30～13:30除く)

年末年始 (12月29日～1月3日) だけ休みます。

津山サテライトオフィス

津山市山下30-9 津山商工会館 津山商工会議所内

毎週月曜日 : 13時00分～20時00分

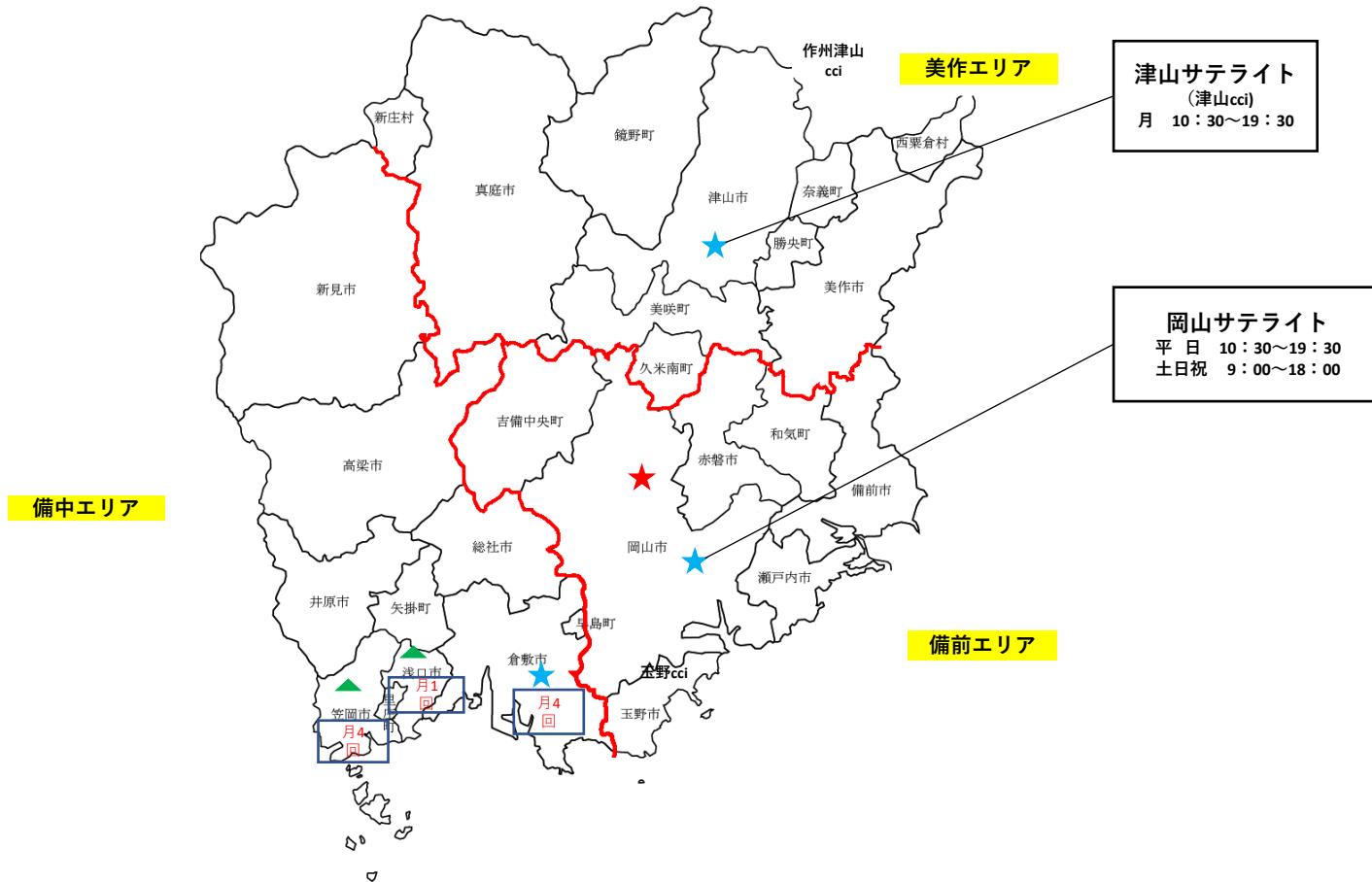
出前よろず支援拠点

・県内10箇所で定期的に開催

津山市、笠岡市、浅口市 など

金融機関、商工会議所、商工会等と連携して、無料相談会を開催

岡山県内よろず支援拠点（R6年4月現在）



5、勉強会

岡山よろず勉強会

こんな方におすすめ！

- 6次産業を検討している人！
- 店の商品をネット等で販売したい！
- 果物加工してジャムを売りたい！
- 食品を製造して販売したい！

WEB開催
月・水・木
随時開催
無料

食品企画から販売までの流れ
食品加工の始め方

こんな商品作って売りたい。
企画している商品やお店の営業許可に合わせて
お話をいたします。
食品製造には保健所の許可が必要になる場合も
あります。2021年6月からこの許可種類も大幅
に変更になります。企画・加工方法・表示・価
格設定・販売まで一連の流れをお伝えします。

講師

コーディネーター 中野 旬一
倉敷市食品衛生協会衛生指導員
JAS製造工場管理者
経営者



中小企業・小規模事業者のための経営相談窓口
岡山県よろず支援拠点

予約受付 TEL 086-206-2180
電話対応時間 平日9:00～17:00

チラシ・パンフレットを制作したい方へ

WEB開催!!

＼これを押さえれば完璧?!／

伝えるための デザイン術

こんなお悩みを持つ方にオススメ！

何を載せたらいいかわからない どんな色をつかえばいいの？
 文字ばかりで見にくくなった 純粋に見えるレイアウトを知りたい

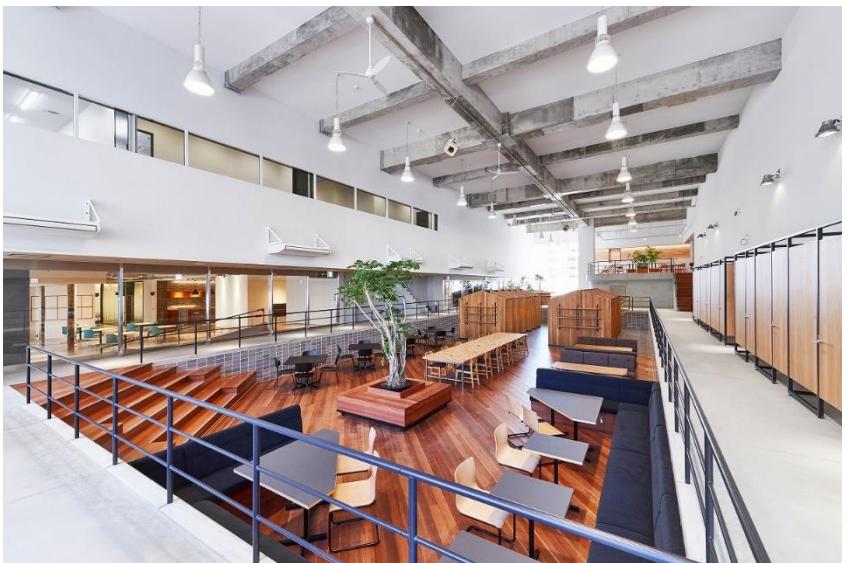
チラシやHPを作ろうとして、内容がまとまらなくなったり…。
文字がいっぱいだと読みづらいの？どんなものを作ればいいかわからない！
など、広告物を作るって大変ですよね。
そんなお悩みを解決するデザイン術のあれこれをお教えします！

担当：今岡優菜（デザイナー）

日程 毎週月曜・第1第3火曜 時間 11:00-18:00の間
(所要時間 1時間)

お電話またはWEBからお申し込みください

086-206-2180 (岡山県よろず支援拠点)



6、ミニセミナー

受講無料

オンラインで学べる！よろずミニWEBセミナー

様々な専門を持つよろず支援拠点のコーディネーターがそれぞれのノウハウを短時間にぎゅっと凝縮してお伝えするミニセミナーです

＼おかやまよろずのミニセミナー／

知らない人は損！お客様に伝わるページ構成術！

楽して魅せる商品ページ作成術

通販サイトの商品ページやチラシの紹介文、どうやったら魅力的になるのか？そんなお悩みありませんか？文章作成が苦手、ポイントがわからない、そんな皆様のお悩みを60分で解決します。

知ってるだけで各段に楽になるテクニックやお助けツールを手に入れて、お客様に魅力が伝わる商品ページを作りましょう！

ネット通販を始めた方、始めたばかりの方
自社商品の魅力を一人でも多くの方に理解してもらいたい方
商品紹介やサービス紹介を言葉にするのが苦手な方

講師　ITコンサルタント
正田 真澄　まさだ ますみ



令和6年 8月 3日 土 15:30-16:30

開催方法 Microsoft Teams を使用します。（オンラインでの開催）
受講条件 インターネット接続環境がある場所で受講可能。
スピーカー・マイク・ウェブカメラを備えたデバイス（PC・タブレット・スマホ）があること。PCの場合Windows10以上のOSが必要。

※お申込みフォームが完了された方は、セミナー前日に参加URLをメール送付させて頂きますのでお待ちください。

ご予約・お問合せは 086-206-2180 ※HPからのご予約も可能です

岡山県よろず支援拠点
岡山県岡山市北区磨屋町3-10 TOGITOGI 2F
お問い合わせ・ご相談予約はコチラ
086-206-2180
電話受付時間平日9:00-17:00



受講無料

オンラインで学べる！よろずミニWEBセミナー

様々な専門を持つよろず支援拠点のコーディネーターがそれぞれのノウハウを短時間にぎゅっと凝縮してお伝えするミニセミナーです

＼おかやまよろずのミニセミナー／

広告に悩んでいる方必見！

次世代AIツールで時短広報戦略！

時間が無い。担当者がいない。など、広報活動が難しい方必見！次世代AIツールを使い、誰でも簡単に効果的な広報を作成してみませんか？

- 忙しくて広告を考える時間が無い方
- デザインなどが素人の方
- 広告にお金をかけずにやりたい方

講師　ITコンサルタント
山畑 和久　やまたけ かずひさ



令和6年 8月 15日 木 15:30-16:30

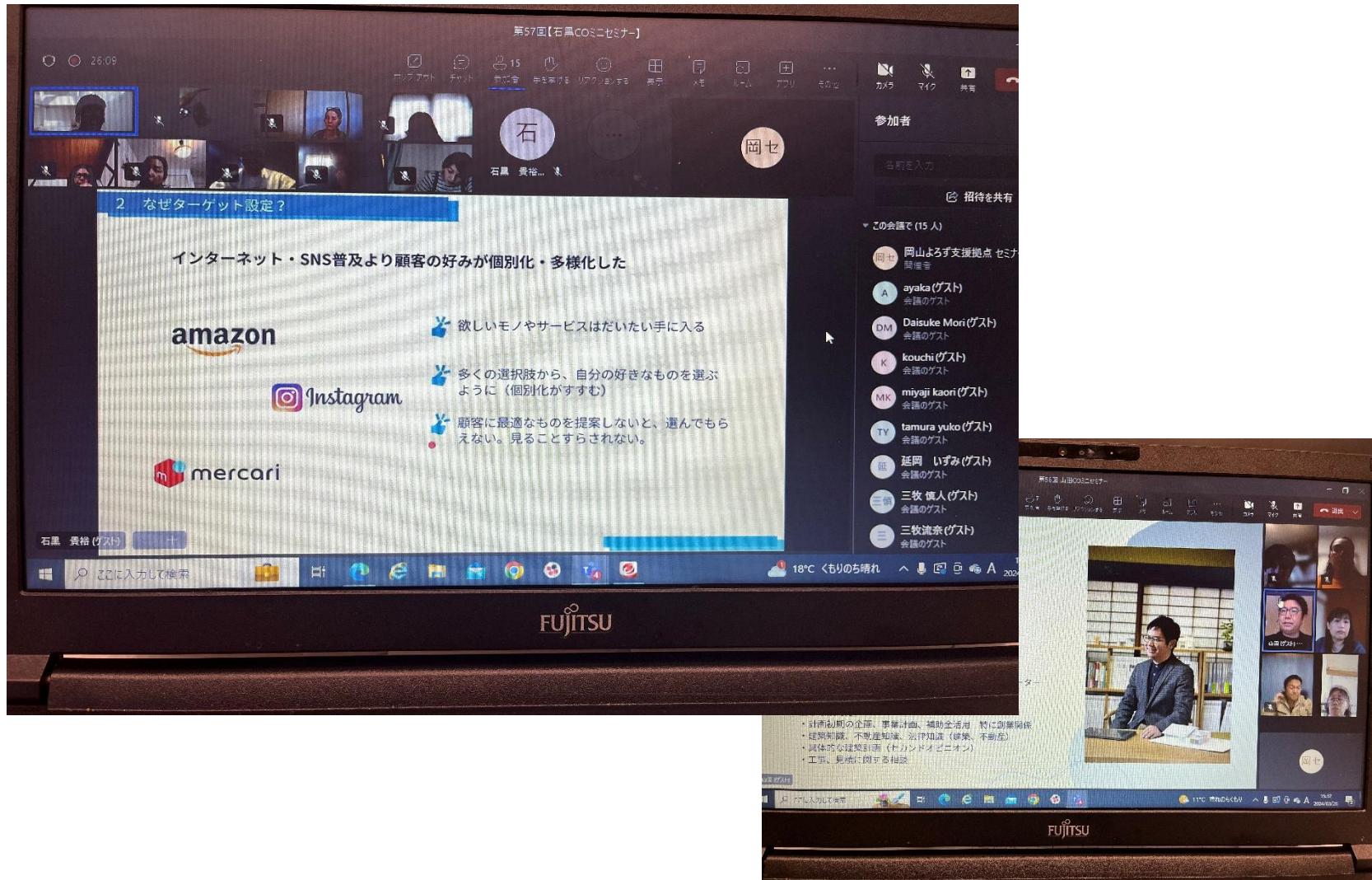
開催方法 Microsoft Teams を使用します。（オンラインでの開催）
受講条件 インターネット接続環境がある場所で受講可能。
スピーカー・マイク・ウェブカメラを備えたデバイス（PC・タブレット・スマホ）があること。PCの場合Windows10以上のOSが必要。

※お申込みフォームが完了された方は、セミナー前日に参加URLをメール送付させて頂きますのでお待ちください。

ご予約・お問合せは 086-206-2180 ※HPからのご予約も可能です

岡山県よろず支援拠点
岡山県岡山市北区磨屋町3-10 TOGITOGI 2F
お問い合わせ・ご相談予約はコチラ
086-206-2180
電話受付時間平日9:00-17:00





7、よろずcafe

参加無料
7.20 土
16:00-18:00
WEB同時開催
15:30開場

経営を学び交流し繋がる場
YOROZU Café
よろず カフェ

第2回
アトツギが0→1で作る、
社内ベンチャー

メイン講師
高田 健太さん
株式会社ドゥフォワイエ
美町を中心とした街の活性化を図る、
街の活性化プロジェクトとして入社。
2023年に社内ベンチャーとして、「Haut
tripot」をスタート。3Dプリントの上に製
品を作れる技術を導入することで、生産か
ら一気に行なう新規事業を取り組んでいます。

よろず講師
松本 秀一
中小企業診断士
玉置 順一
ITコンサルタント

会 場
岡山県よろず支援拠点
岡山県岡山市北区磨屋町3-10 TOGITOGI 2F

プログラム
16:00 メインセミナー
『アトツギが0→1で作る、
社内ベンチャー』
17:00 コーディネーターセミナー
『人手不足に負けない組織をつくる
第一歩 心理的安全性入門』
松本 秀一 コーディネーター
17:30 コーディネーターセミナー
『三方よしのDX化のススメ』
玉置 順一 コーディネーター
18:15 交流会（希望者のみ）20:00まで
講師や参加者と気軽に交流ができます。
※簡単な軽食をご用意します。
参加費 ¥1,000

岡山県よろず支援拠点
岡山県岡山市北区磨屋町3-10 TOGITOGI 2F

お問合せ・ご予約はコチラ
086-206-2180
電話受付時間平日 9:00-17:00
<https://form.run/@yorozucafe0720>

参加無料
6.8 土
16:00-18:00
WEB同時開催
15:30開場

経営を学び交流し繋がる場
YOROZU Café
よろず カフェ

第1回
長期インターン生の活用術
社員よりも優秀な学生と接点を持つ方法

メイン講師
藤田 圭一郎さん
有限会社藤田酒店 店主
株式会社COMPUS 代表取締役
家業の業務用酒販店にアトツギとして入社。
後、傍らで地図アプリ「カクシ」のWebサービス
を開発立ち上げ起業。現在は地方学生
のための長期インターン求人COMPUSの
運営に注力している。

よろず講師
北川 知裕
ITコンサルタント
藤井 雄唯
デザイナー

会 場
岡山県よろず支援拠点
岡山県岡山市北区磨屋町3-10 TOGITOGI 2F

プログラム
16:00 メインセミナー
『長期インターン生の活用術』
社員よりも優秀な学生と接点を持つ方法
17:00 コーディネーターセミナー
『Instagramをデザイン視点とマー
ケティング視点でクロストーク』
北川 知裕 コーディネーター
藤井 雄唯 コーディネーター
18:15 交流会（希望者のみ）20:00まで
講師や参加者と気軽に交流ができます。
※簡単な軽食をご用意します。
参加費 ¥1,000

岡山県よろず支援拠点
岡山県岡山市北区磨屋町3-10 TOGITOGI 2F

お問合せ・ご予約はコチラ
086-206-2180
電話受付時間平日 9:00-17:00
<https://form.run/@yorozucafe0608>





8、その他(岡山県よろず支援拠点は、県内のあらゆる組織と連携しています)

選ばれる〇〇になる!!

参加費：全5回コース（通期参加費）6,000円
オンライン参加も可能、同額
スポット参加：2,000円/回
通期申込者はアーカイブ視聴も可能です。

リアル会場：TOGITOGIほか
リアル開催定員：40名
超える場合は、オンライン参加へ
ご案内します。

Q1、誰が参加できるの？

→1年以内に起業予定の方、個人事業・法人経営者経営権をもって事業している方ならどなたでも参加可能、男性も歓迎です。

Q2、通期参加とスポット参加の違いは？

→全5回コースなら、アーカイブ視聴もできるし、1回分がスポット参加よりお得、気になる内容だけ参加したい方は、スポット参加がオススメです。

Q3、同友会に入会しないと参加できない？

→会員以外の方も参加できます！

お問い合わせ

岡山県中小企業家同友会
岡山市北区富田29

086-222-7473 FAX:086-225-3662
mail : info@okayama.doyu.jp

会員以外の方の
お申込みはこちから→

* 会員はe.doyuからお申込みください。



トマト銀行高梁支店
お得意さま係
岡本 翔真 氏

当社でも「本業支援」活動を強化している中、外部の専門家がどのように地域の企業を支援しているのか関心があり、トレーニー制度に志願。デザイナーによるSNS運用や広報に関する相談、社会保険労務士による社員教育・人材育成の相談に同席した。相談者の悩みが多岐にわた

ることに驚いたとともに、同席相談を重ねたことで雑談から支援の種を拾うアンテナが高くなったと感じている。

早速支店エリア内の飲食店に対し、新メニューの開発やジビエ食材の使用に向けた狩猟者とのマッチングなどを行い、学んだことを業務に生かせている。さまざまな専門家とネットワークができたのも収穫の一つ。経営者から相談を受けた際、必要に応じてよろず支援につなげ、今以上に中小企業をサポートしていく。

中国財務局岡山財務事務所

金融機関と支援機関の連携をテーマとしたセミナーを開催

岡山財務事務所では、金融の力で地域の活性化や地域課題の解決を目指していくことを目的に「地域金融セミナー」を開催した。

概要

- 金融機関と支援機関の連携に係る好事例や、支援実務上の対応や課題の共有を通じ、双方の更なる連携を後押しするためにセミナーを開催。
- セミナーでは、講師より、支援機関の役割、活動状況等についてご講演いただくと共に、参加者に対して支援機関の更なる活用を呼びかけられた。
- 当日は金融機関や支援機関など約70名が参加。

講演内容

- ◆ 岡山県中小企業活性化協議会の現状と今後
- ◆ トレーニーとしての活動報告
講師：(公財)岡山県産業振興財団
岡山県中小企業活性化協議会
- ◆ 買いよろず支援拠点の活用方法
～地域金融機関との連携強化～
講師：(公財)岡山県産業振興財団 岡山県よろず支援拠点、(株)トマト銀行

取組の成果

● 参加者からの声

支援の流れや内容、
活用リストについてわかりやすく
説明いただき理解が深まった。



中小企業の課題解決に
専門家の支援は不可欠であり、
活用方法等がよく分かった。

● 今後の展開

金融機関と支援機関による連携した事業者支援対応の一助となれるよう引き続きこうした取組を継続していく。

